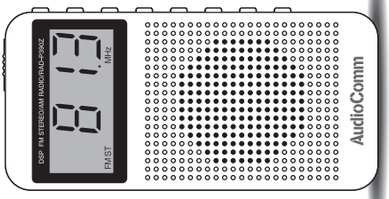
AudioComm®

保証書付 取扱説明書

AM/FMコンパクトDSPラジオ

型番：RAD-P390Z-W/K
品番：07-9815/9816



このたびは、AudioComm® 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FMコンパクトDSPラジオ			★お買い上げ日： 年 月 日
型 番	RAD-P390Z-W/K	品 番	07-9815/9816	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前 様 ★ご住所 〒 ー 電話 ( )			

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話 印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-9815/9816A

目次

免責事項…… 1
静電気に関するご注意 …… 1
安全上のご注意 …… 1～2
乾電池の入れかた …… 3
各部の名称…… 4
時刻の合わせかた …… 5
音声出力の切換とイヤホンについて …… 5
ラジオを聴く …… 6～7
自動メモリー登録 …… 7
手動メモリー登録 …… 8
ロック機能について …… 8
アラーム機能 …… 9
スリープ機能 …… 10
故障かなと思ったら …… 10
お手入れのしかた …… 10
主な仕様…… 11
保証書とアフターサービスについて …… 11
保証書…… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。

安全上のご注意

警告 以下を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源を切る。
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

●万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

●本体を分解、修理、改造しない。
火災・感電の原因となります。

警告 以下を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

●屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する。
落雷や感電の原因となります。

●台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない。
火災や感電の危険があります。

●乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談する。
乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

●車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない。
交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

注意 以下を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。
落下による故障やけがの原因となることがあります。

●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

●乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる。
間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない。
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない。
電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

●本機の上に重いものをのせない。
故障や破損の原因になることがあります。

●はじめからボリュームを上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない。
周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

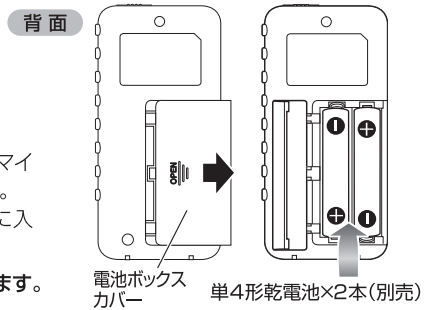
●長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。
火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池の入れかた

1 **電池ボックスカバーのOPEN部を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開けます。**

2 **単4形乾電池×2本(別売)を、本体記載図柄を参照し、⊕と⊖の向きに注意しながら正しく入れます(右図参照)。**
電池ボックス内に表示されているプラス(⊕)、マイナス(⊖)の極性どおりに正しく入れてください。
コイルばねのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。

3 **電池ボックスカバーを元通りにしっかりと閉めます。**



※アルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

ヒント 乾電池交換の目安

乾電池の残量が少なくなってくると、ディスプレイに「▭」が表示され、音量が小さくなったり、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、早めに新しい乾電池と交換してください。
※乾電池の残量が十分にあるときは「▭」は表示されません。

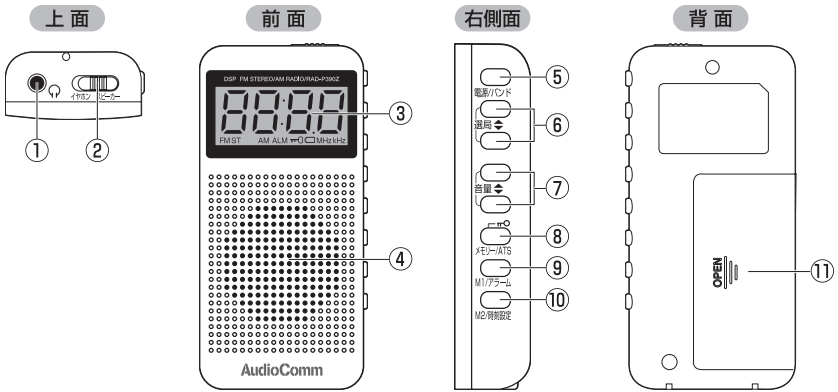
乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使用する ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

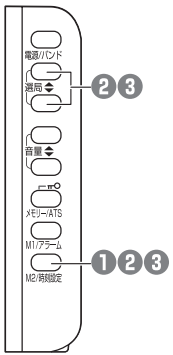


①イヤホンジャック
②音声出力切換スイッチ
③ディスプレイ
④スピーカー
⑤電源／バンド切換ボタン
⑥選局ボタン(▲／▼)
⑦音量ボタン(▲／▼)
⑧メモリー／ ATSボタン
⑨M1 ／アラームボタン
⑩M2 ／時刻設定ボタン
⑪電池ボックスカバー

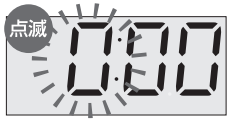
❶時刻・周波数表示
❷FM受信表示
「FM」: FM(モノラル) 「FM ST」: FM(ステレオ)
❸スリープマーク
❹AM受信表示
❺アラームマーク
❻ロックマーク
❼電池残量警告表示(乾電池の残量が少なくなると表示されます)
❽周波数単位 「MHz」: FM 「kHz」: AM

時刻の合わせかた

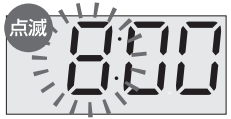
電源が切れた状態で操作してください。



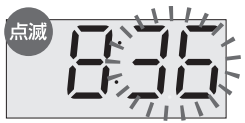
❶ M2 ／時刻設定ボタンを長押しします。
ディスプレイの「時」表示が点滅します。



❷ 選局ボタン(▲／▼)を押して「時」を合わせ、M2 ／時刻設定ボタンを押します。
・本機の時刻表示は24時間表示です。
・押すたびに数字が変化します。また、長押しすると数字が速く送られます。



❸ 選局ボタン(▲／▼)を押して「分」を合わせ、M2 ／時刻設定ボタンを押します。
・設定が確定すると、点滅が止まります。

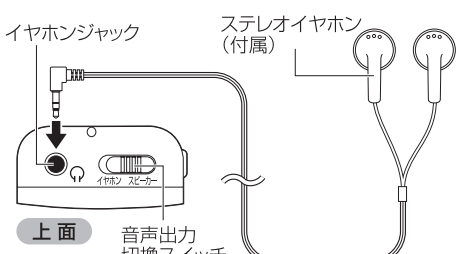


ヒント　ボタン操作をしない状態が約7秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。修正するには最初からやり直してください。

音声出力の切換とイヤホンについて

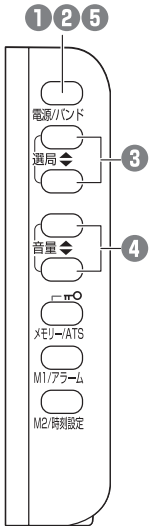
イヤホンで聴くときは音声出力切換スイッチを「イヤホン」に、スピーカーで聴くときは「スピーカー」に合わせます。

重要　**FM放送を聴くときは、必ずイヤホンジャックにステレオイヤホン(付属)を差し込んでください。**
イヤホンがアンテナとしても機能するため、イヤホンを接続しないと放送を聴くことができません。



※スピーカー音声は、AM、FM、FM STのいずれの場合もモノラルになります。

ラジオを聴く



FM放送の場合は、イヤホンコードがアンテナの役割を兼用しています。スピーカーで聴く場合でもイヤホンを接続してください。

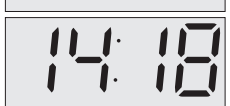
❶ 電源／バンド切換ボタンを押します。
電源が入り、「On」表示に続いてラジオを受信します。

❷ 必要に応じて、電源／バンド切換ボタンを数回押し、「AM」、「FM」、または「FM ST」を選びます。
AM：AM放送を受信(モノラル音声出力)
FM：FMステレオ放送をモノラル音声で出力
FM ST：イヤホン使用時にFMステレオ放送をステレオ音声で出力
(スピーカー使用時はモノラル音声出力)

❸ 選局ボタン(▲／▼)を押して、聴きたい放送局の周波数に合わせます。
・押すたびに数字が変化します。
・長押しすると数字が速く送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。
・AM放送の場合、9kHz単位で、FM放送の場合は0.1MHz単位で上下します。

❹ 音量ボタン(▲／▼)を押して、音量を調節します。
・0～16の間で調節できます。音量表示は約2秒後に周波数表示に戻ります。
・音量の上げすぎにご注意ください。

❺ 終了するときは、電源／バンド切換ボタンを長押しします。
「OFF」表示に続いて現在時刻表示に戻ります。



ご注意　テレビの近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。

次ページへ続く>>

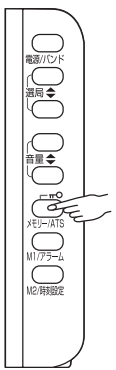
ラジオを聴く（つづき）

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

自動メモリー登録　※AM・FMそれぞれ最大38局まで登録できます。

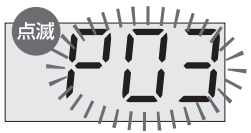
本機はATS機能（オートスキャン機能）を搭載しており、お使いの地域で受信可能な放送局を一括してメモリー登録できます。登録したい放送（AMまたはFM ／ FM ST）を選択した後、以下の操作をしてください。



自動メモリー登録をするには

メモリー／ ATSボタンを長押しします。

- 周波数が自動で送られ、受信可能な放送局をメモリー番号「P03」から順に登録します。
- 周波数が送られている間はオートスキャン中です。
- オートスキャンとメモリー登録が終わると、最初に登録された放送局（メモリー番号「P03」）を受信します。



自動メモリー登録中

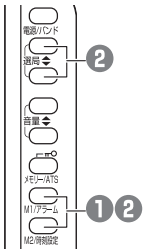
登録した放送局を呼び出すには

- お聴きになりたい放送局のメモリー番号が表示されるまで、メモリー／ ATSボタンを数回押してください。
- メモリー／ ATSボタンを1回押した後、選局ボタン（▲／▼）を押して、メモリー番号を選ぶこともできます。

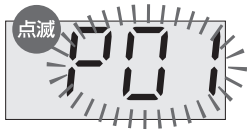
ご注意
- ●自動メモリー登録を行うと、メモリー番号「P01」、「P02」以外の登録内容は上書きされます。
- ●登録内容が破棄されることがありますので、乾電池を交換するときは素早く行なってください。
- ●屋内の場合は窓の近くなど、できるだけ受信環境の良い場所で行なってください。
- ●お使いの地域が変わった場合は、自動メモリー登録を再度行なってください。

手動メモリー登録　※AM・FMそれぞれ最大40局まで登録できます。

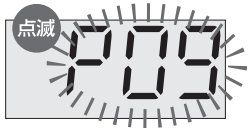
よく聴く放送局を、任意のメモリー番号に登録することができます。
登録したい放送局を受信した後、以下の操作をしてください。



1 **M1 ／アラームボタン、または M2 ／時刻設定ボタンを長押しします。**
M1 ／アラームボタンを長押ししたときは「P01」が、M2 ／時刻設定ボタンを長押ししたときは「P02」が点滅します。



2 **「P01」または「P02」が点滅している間に、選局ボタン（▲／▼）を押して登録したいメモリー番号を選び、M1 ／アラームボタン、またはM2 ／時刻設定ボタンを押します。**

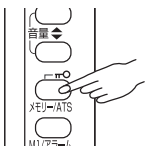


登録した放送局を呼び出すには

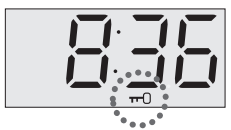
- メモリー番号「P01」と「P02」に登録した放送局は、M1 ／アラームボタンまたはM2 ／時刻設定ボタンを押すだけで選局することができます。
- それ以外の場合は、お聴きになりたい放送局のメモリー番号が表示されるまで、メモリー／ ATSボタンを数回押してください。
- メモリー／ ATSボタンを1回押した後、選局ボタン（▲／▼）を押して、メモリー番号を選ぶこともできます。

ヒント
- ●メモリー番号「P01」と「P02」に登録した放送局は自動メモリー登録（P.7）を行なった場合も上書きされません。
- ●何も操作しない状態が約5秒間続くと、登録操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。
- ●メモリー登録を削除するには、削除したいメモリー番号を選び、3秒以内にメモリー／ ATSボタンを押してください。「- - -」が表示されたら削除完了です。

ロック機能について　※本機のロック機能は電源オフ時のみ有効です。



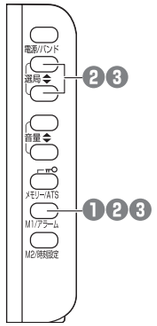
電源が切れているときにメモリー／ ATSボタンを長押しすると、ボタン操作ができなくなります（ポケットや鞄に入れているときに、誤って電源が入るのを防ぐことができます）。ロック機能を解除するには、もう一度メモリー／ ATSボタンを長押ししてください。



アラーム機能

※本機ではラジオの音声がアラーム音になります。

アラーム起動時に受信したい放送局と音量をそれぞれ設定して電源を切った後、以下の操作をしてください。



❶ M1 ／アラームボタンを長押しします。
アラームマーク(ALM)と「時」表示が点滅します。

❷ 選局ボタン(▲／▼)を押して「時」を設定し、M1 ／アラームボタンを押します。

❸ 選局ボタン(▲／▼)を押して「分」を設定し、M1 ／アラームボタンを押します。
・設定が確定すると、現在時刻表示に戻り、アラームマークが表示されます。

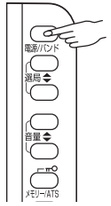
ご注意　ボタン操作をしない状態が約7秒間続くと、設定操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。

アラームが鳴ったら

電源／バンド切換ボタンを長押しして、電源を切ってください。

ヒント
●アラームが起動する前にアラームを解除するには、電源が切れている状態でM1 ／アラームボタンを押してください。「OFF」と表示された後、アラームマークが消えます。
●電源が切れているときにM1 ／アラームボタンを押すと、「On」と表示された後、アラームマークが表示されます。この場合、既存の設定時刻になるとアラームが起動します(ただし、放送局と音量は、最後に電源を切ったときの設定が反映されます)。

スリープ機能



電源が切れた状態で、以下の操作をしてください。

❶ 電源／バンド切換ボタンを長押しします。
スリープマークと「90」が表示されます。

❷ そのまま押し続けて、設定したい電源オフまでの時間が表示されたら、指を離します。
・「90」から「80」、「70」…と10分刻みで変化し、指を離すとそのまま電源が入ります。
・スリープ機能が有効なときは、スリープマークが表示されます。
・スリープ機能を解除するには、電源／バンド切換ボタンを長押しして電源を切ってください。

故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池の向きは正しいですか。 ●乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	●電源は入っていますか。 ●イヤホンは正しく接続されていますか。特にFM放送の場合は、スピーカーで聴く場合でもイヤホンの接続が必要です。 ●音量が最小になっていませんか。 ●音声出力切換スイッチは正しく合わせられていますか。
正常に動作しない	●乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、電源を入れることができてもすぐに切れたり、ボタン操作ができなくなることがあります。早急に新しい乾電池と交換してください。

お手入れのしかた

表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後に乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

主な仕様

電　　源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売)	
受信周波数	AM：522～1620kHz(9kHzステップ)	FM：76～108MHz(100kHzステップ)
アンテナ	AM：内蔵フェライトアンテナ	FM：アンテナ兼用イヤホンコード
電池持続時間の目安	スピーカー使用時／AM受信 約17時間	FM受信 約16時間
	イヤホン使用時／AM受信 約24時間	FM受信 約24時間
外形寸法	幅42×高さ87×奥行21mm(突起物を除く)	
質　　量	約45g(乾電池含まず)	
付属品	ステレオイヤホン(コード長約110cm)、保証書付取扱説明書	

※電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用、音量中程度の場合の目安です。使用状況などにより異なります。
※外観・仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。
※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。